

▼別ショットの写真



今月の表紙は、8月27日に幸田中学校の体育館で開催されたデンソーエアリービーズ所属の選手によるバレーボール教室での1枚です。指導してくれた選手のお名前は12ページのまちかどフォトニュースでご紹介しています。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ
☎62-1111 (内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

さいびかい 油彩画 彩陽会



彩陽会は、サイピカイと読みます。スペクトルの中の個性的な色たちが、太陽光としてひとつにまとまって輝くような会に…という願いからつけられた名前です。

会員の作品は、静物画や風景画から抽象画に至るまで様々であり、その表現技法も多彩です。

作品の発表は、春・秋の文化展と、独自に行う彩陽会展の年3回です。これらの発表会はすべて町立図書館のギャラリーで行われます。

会員が集まって学習する場合は、年に数回のデッサン会と、年1回

のスケッチ旅行です。

デッサン会は、物の形を捉える基礎練習の場であり、石膏像や瓶、楽器などを描いています。

また、スケッチ旅行は、日帰りで行ける場所が基本です。ちなみに昨年度は、常滑の焼き物散歩道に行きました。

油絵に興味がある人、油絵を始めてみようと考えている人、ぜひご連絡ください。(文責 大須賀貞治)

問合せ 彩陽会代表 長尾 進
☎62-2010

サークル 紹介

この指
とーまれ
156

みんなの作品展!

第39回幸田学童書道展からのセレクトです。



幸田中3年
左右田 真希 さん



幸田小6年
中屋 七海 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今日の記念日

10月13日は「豆の日」

日本では古来、旧暦8月15日の「十五夜」と9月13日の「十三夜」に月を愛でる月見の風習があります。月見のお供え物といえば「月見団子」が定番ですが、昔は、ちょうどその季節に収穫される作物として「十五夜」には里芋を、「十三夜」には豆をお供えして食べる習慣がありました。「十五夜」は「芋名月」、「十三夜」は「豆名月」とも呼ばれています。

「豆の日」は、豆名月(豆を食べる風習)にちなんで制定されましたが、旧暦9月13日の「十三夜」は、新暦では年によって日付が変動してしまつたため、10月13日とされました。さらに2016年は、国連により「国際マメ年」に制定されています。豆類は、良質のたんぱく質やエネルギー源となる炭水化物はもちろん、ビタミン類を多く含む、現代人に不足がちなミネラルを豊富に含んでいます。日本豆類協会のサイトでは、豆のゆで方など豆料理の基礎のほか、料理のジャンルや豆の種類別料理など、さまざまなレシピが紹介されており、豆の魅力を楽しむことができます。

* 参考資料: 「豆の日」普及推進協議会 <http://mame-no-hi.jp/> 日本豆類協会 <http://www.mame.or.jp/>



青春トークリレー

△△第283走者△△

おおみさき かな 大岬 可奈さん

桜坂区在住 20歳 職業 大学生
血液型 秘密 身長 157cm
好きなタイプ 一緒にいて楽しい人
好きな芸能人 福士 蒼汰

私は小学生の時から夢だった幼稚園教諭になるという夢をかなえるために現在短期大学に通い保育の勉強をしています。

実習などで子どもと関わる機会も多くあり、かなえたいという気持ちがいよ強くなりました。来年から保育の現場で働けるように勉強を頑張りたいです。

また、今年で成人を迎えるのもっとたくさんの方に挑戦してみたいです。何に対してもやってみようという気持ちを大切に色々なことにチャレンジしていけたらいいと思います。

もともと体を動かすのが大好きなのでアクティブに行動していきたいと思います！！



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。



環境だより VOL.33

川に潜む特定外来生物！

8月10日に尾浜川と光明寺川で水生生物観察会を開催しました。参加した子どもたちは、観察会の講師である、自然観察指導員の天野保華先生から魚とりのコツを教してもらい、魚とりにいざ挑戦！尾浜川ではカダヤシ、オイカワ、どじょうなどの魚がとれ、大きな魚がとれると、「こんなに大きな魚がいた！」と笑顔で見せてくれました。

その後、とった魚を容器の中に並べて、先生から魚の名前を教してもらい、「メダカ」と「カダヤシ」の違いについても学びました。

見た目の違いは、メダカの尾びれは角ばっており、カダヤシの尾びれは丸くなっているそうです。その中でも大きな違いはカダヤシが特定外来生物だということ。先生から「カダヤシは川に返すことができない。」と説明がありました。

特定外来生物を野外に放ったり・植えたり・まいたりした場合は、罰則が科されてしまうのです。釣り魚として人気の、オオクチバス（通称ブラックバス）やブルーギルも特定外来生物です。世界中で深刻な問題になっていて、生物多様性の脅威となっています。



▲尾浜川で魚をとる子どもたち

問合せ 環境課 環境保全グループ(内線272)

編集者のちょっとらいふ

高校時代、夏休みに部活の合宿でサッカーの試合を1日3試合したことが今ではとても信じられない編集者のKです。

こうた夏まつりにお邪魔してきました。まつりの開始に先駆けて午後1時30分から光明寺川で行われたポンツクの様子を撮影していた30分間がものすごい日差しで、その後しばらくエアコンの効いた室内でくったりしてしまいました。そんな暑さにも関わらず、ステージイベントに登場してダンスなどを披露した子どもたちは笑顔で観客を魅了していました。私もあのころに戻りたい…。会場では毎年子どもを連れた同級生を何人か見かけ、親子で楽しめる地域のイベントになっているなど嬉しく思います。今年で19回目となりましたが、参加した子どもたちが大人になって、今度は自分の子どもを連れて参加することを想像すると素敵だなぁと思います。実行委員会の皆さんと学区コミュニティを始めとした参加者の皆さんの努力に感謝です。

さて、今月号が皆さんのお手元に届くときには秋の気配が届いてますでしょうか？10月23日に幸田中央公園で開催される第61回町民大運動会でお会いしましょう(K)